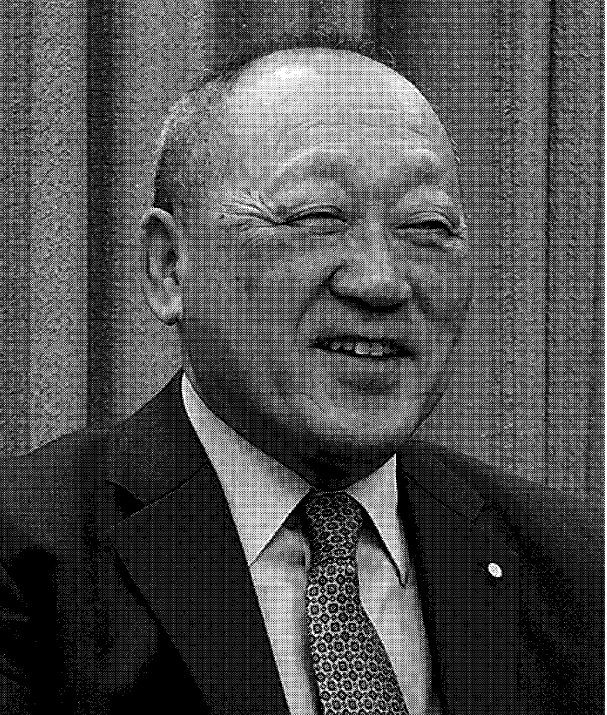


ナゴヤビジネス

名古屋商工会議所会頭
嶋尾 正氏



創業支援のネットワーク作る中心に 施設や企業をマッチング

三大都市圏として、日本の中でも大きな規模を誇る名古屋都市圏。2024年10月に愛知県が日本最大級のスタートアップ支援施設「ステーションA」を開業したのをきっかけに、起業の機運が高まる。市内での創業支援もしてきた名古屋商工会議所の嶋尾正会頭に、現状や今後の取り組みについて聞いた。

―県内で創業支援の機運が高まる中、このテーマに対して、設「なごのキャンパス」の運営

「名古屋商工会議所は19年に開校したインキュベーション施設として、創業支援の中心に位置づけられています。『なごのキャンパス』は、市内に点在するスタートアップ支援施設や企業をマッチングし、起業の機運を高めていくことを目指しています。また、金融機関もスタートアップ支援に注力している。今回、ステーションAという大きな施設ができたので、これを核にして、創業支援のネットワークを重層的に構築するのが重要だ。その役割を我々が中心となって担いたい」

―どのような活動を進めていますか。

「それぞれの施設や支援先のスタートアップを積極的にマッチングすれば、なんらかの反応が起こる。小さな成功例をいくつも生み出せば、その中からユニコン（時価総額10億ドル以上の未上場企業）が誕生する可能性もある。創業の機運はこれまでにない熱量を感じるのと、早い時期に成功例が生まれると期待している」

―名古屋市のインバウンド（訪日外国人）増加と経済活性化の効果も期待されるアジアパシフィック大会が26年に開催されることを広げていきたい」

- 名古屋商工会議所役員
- | | |
|--------|----------------------|
| 会頭 | 嶋尾 正氏 |
| 副会頭 | 内藤 弘康氏
(大同特殊鋼相談役) |
| 藤森 利雄氏 | (名港海運会長) |
| 加留部 淳氏 | (トヨタ自動車
アドバイザー) |
| 富成 義郎氏 | (東邦ガス会長) |
| 高崎 裕樹氏 | (名古屋鉄道社長) |
| 高原 一郎氏 | (三菱UFJ銀行
副頭取執行役員) |
| 加藤 博氏 | (フリタケ会長) |
| 専務理事 | 内田 吉彦氏 |



名古屋は中部地区最大の商業都市として知られ、東京・大阪と並ぶ三大都市として発展を続けている。製造業の一大集積地である愛知県の中心都市であることから、都市部でありつつも多くのモノづくり企業が立地。名古屋を中心とした都市圏で工業が発達するという特徴をもつ。三大都市圏の中心に位置し、国内有数の貿易港を有することから人やモノの往来にもメリットをもつ。人手不足や脱炭素など変化する社会課題に対応するため、蓄積したモノづくりの技術と先端研究を組み合わせ、新たなイノベーションの創出も求められる。

製造業の土壌生かし新産業へ 起業意欲高める取り組み本格化

名古屋は東京都や大阪府に次ぐ商業都市。た。ほかの大都市と異なる大きな特徴は、周な地域として評価される。辺の地域やそこに立地している。する企業と密接につながり、大きな都市圏を形づくっている点だ。周辺には自動車産業や工作機械産業、航空機産業といった世界でも屈指の製造業が集積している。周辺地域の企業が出が求められている。名古屋市内に拠点を構えたり、従業員が市内から通勤したりと、研究開発との連携によるというケースも多い。大都会に集まる豊富な人材と製造業に蓄積した技術とが密接につながること、大きな都市圏を形成しながら、モノづくり産業で成功しと事業会社との共創を目指す。

なごのキャンパス 開業5周年迎える

スタートアップ支援展開している。が活性化中、名古屋商工会議所など連携して、ただでなく地域住民も営を支援するインキュベーション施設「なごのキャンパス」(同市S)を開業。5周年の節目となる24年、11月8日(9日)の2日に開催。同日は、市内のスタートアップ企業や、地元企業とスタートアップの協力を進めたいと期待される。



Rinnai

リンナイは、健全で心地よい暮らし方を創造します



すごい未来 特殊鋼と行こう!

大同特殊鋼

Beyond the Special



CMはコナミ

トヨタイムズ

未来を、どこまで楽しくできるか。



WEBサイト



YouTube

